



大学生リーダーの掛け声にあわせて、約 200 人の参加者が笑顔でポーズ（白子のつどい）

## 2022年度 活動報告

苦境の中でも仲間と学び成長し続ける遺児たち、懸命に生きる保護者。それを支える本会の2022年度の活動を、あしながさんへ心からの感謝を込めてご報告いたします。

# 大学奨学生のつどい復活!

## 全国から200人参加 連帯のバトンつながる

2023年2月、コロナ禍で中止していた「大学及び専修・各種学校奨学生のつどい（白子のつどい）」を千葉県白子町において3年半ぶりに実施しました。

つどいを経験した世代が卒業してしまうため、ノウハウの継承のためにも「高校奨学生のつどい」を意識したプログラム構成で開催。大学1年生を主とした奨学生87人と、アフリカからの留学生9人。さらに上級生の学生スタッフ42人、後輩のために全国から駆けつけたOB・OG22人と職員ら総勢約200人が集まりました。

ここ数年、集団での活動や生活が大きく制限されていた参加者は、3泊4日の間、お互いの人生を語り、先輩やOB・OGの話に刺激を受け、真剣に自身の志を考える密度の濃い時間を過ごしました。

参加者の98%が「参加してよかった」と答え、つどい後には学生募金事務局や学習支援のサポーターも増加するなど、あしなが運動「連帯のバトン」継承に大きく貢献しました。白子のつどいの成功は、2023年の高校奨学生のつどい完全再開に向けた大きな一歩となりました。

## コロナ禍を越えて、巣立つ奨学生諸君へ

一般財団法人 あしなが育英会 会長 玉井 義臣

「お母さん。14年前にお父さんが病気で亡くなってから、お父さんのぶんまで働き、家に帰れば家事を終わらせ、布団に入る前にカーペットで寝てしまっている姿を覚えています」

2月12日に行われた本会学生寮「心塾（こころじゅく）」の卒塾式。卒塾生代表の松永響（ひびき）君は、涙ながらに答辞を読み上げました。そして、後輩の塾生らが見つめる中、声を詰まらせながらも、しっかりと言ったのです。

「お母さん。わがままで、我が強く、文句ばかりの私を、大人になるまで見守ってくれて本当にありがとう」と。



誕生日の2月6日、あしなが奨学生たちが米寿の祝いに来てくれました。遺児支援の「あしなが運動」を半世紀以上続けてきて、本当によかった。心からそう思えた、とてもうれしい時間でした

NEWあしながファミリー175号のコラム「共生」で、私は1985年に書いた文章を引いて、「人の愛をしっかりと見よう」と奨学生諸君に訴えました。とても大切なことだと思うので、もう一度、ここに書いておきます。



僕は思う。受験戦争に勝ち、有名大学に入り、有名会社に入れば幸福だ、というほど単純ではない。金と地位があっても必ず幸せとはいえない。僕は、幸せの条件の一つは「人の愛が見えること」だと思う。君はまずお母さん（お父さん、祖父母ら君を支えてくれている人）の愛を、目をそらさずしっかりと見すえるのだ。

愛が見えたら、素直に「ありがとう」と言ってほしい。照れくさいだろうけど。感謝は行為で示すことが大切なのだ。実践してこそ本物だ。



この春、社会に巣立つあしなが奨学生は、かけがえのない青春時代を、コロナに翻弄（ほんろう）されてきました。松永君も答辞の中で、言っています。

「先行きが見えない中、大学のすべての授業がオンラインで行われました。大学の友達と顔を合わせる機会も失われていきました。私たちが思い描いていたキャンパスライフが遠のいていきました」

でも、私は思います。君たちは、広い世界をその目で見ることはできなくても、人の心を深く見つめた世代だと。松永君を見て、そう確信しました。

あしなが奨学生諸君。どうか自信をもって、社会に巣立って行ってほしい。幸せになるために、とても大切なことを、君たちは身に付けているのだから。卒業、おめでとう。 (2023.2.22 記)

## 奨学金

### 時代にあわせて制度改革に着手

2022年度は、2551人を採用し、62億1457万円（入学一時金、進学仕度一時金2億2800万円、草間奨学金2805万円、及びあしながMUFU奨学金2億4132万円を含む）を交付。これにより、本会の前身「災害遺児の高校進学をすすめる会」を含めて1988年以来、35年間に累計58120人を採用し、728億9213万円の奨学金を交付しました。入学一時金の額は、私立高校生30万円、私立大学生40万円、高校奨学生3年生対象の進学仕度一時金（貸与）の額は40万円。また、MUFU奨学金における大学進学支援金（給付）の額は30万円です。

受験費用やオンライン学習費などが大学進学への高いハードルになっている実態を踏まえ、高校生への支援を強化し、大学等奨学金は国による高

等教育の就学支援制度が大幅に充実したことを受けて、2023年度からは「無利子貸与型」に一本化します。なお、2022年度までに採用された奨学生は、採用時の制度・金額で交付を続けます。



2021年度に三菱UFJフィナンシャルグループから5億円のご寄付と共に、今後も継続的に支援したいとの申し出があり、2022年度から「あしながMUFU奨学金」として、大学進学支援金・理系大学生支援金制度（給付）を新設しました。

初年度である2022年度は、4年制大学への進学を希望した696人の高校奨学生に対して大学進学支援金を、また大学理系学部に入學した271人の大学奨学生に理系大学生支援金をそれぞれ給付いたしました。

#### 2022年度 奨学金の種類と金額

奨学金の種類		月額
高校生	国公立	45,000円（うち貸与25,000円、給付20,000円）
	私立	50,000円（うち貸与30,000円、給付20,000円）
大学生	一般	70,000円（うち貸与40,000円、給付30,000円）
	特別 <sup>※</sup>	80,000円（うち貸与50,000円、給付30,000円）
専修・各種学校生		70,000円（うち貸与40,000円、給付30,000円）
大学院生		120,000円（うち貸与80,000円、給付40,000円）
草間奨学生		50,000円（うち貸与25,000円、給付25,000円）

※経済的に特に困っていると認められる大学奨学生に適用される制度。本人からの申請によって採否を選考します

### 奨学金検索システムCanpass

政府による大学等無償化制度（所得など条件付き）も始まり、日本学生支援機構（JASSO）による奨学金だけでなく、民間や大学独自の奨学金も充実してきています。しかし、その情報が届いていない遺児家庭も少なくありません。

そのため本会是最適の奨学金制度をスマートフォンでも簡単に検索できるシステム「Canpass」を開設し、無償公開しています。

<https://canpass.ashinaga.org/>



## コロナ禍、値上げラッシュ深刻 遺児への継続支援訴え



雨の中行われた全国募金リレーのスタートセレモニーで、支援を呼びかける寺本龍正あしなが学生募金事務局長（当時）。米国の小説『あしながおじさん』をイメージしたシルクハット姿は全国の募金活動を束ねる事務局長の「正装」です＝新宿駅西口

コロナ禍の遺児家庭への影響を調査するため、4月末に、高校奨学生の保護者を対象にアンケート調査を実施し、771人から回答を得ました。

生活必需品の値上げラッシュの悪影響が浮き彫りとなり、進学をあきらめざるをえないという声もありました。

「今こそ、遺児たちの苦境を支えなければ」という思いから、3年ぶりに全都道府県149か所での街頭募金が復活。5月から12月にかけて各

都道府県で週末に1日ずつ募金を行う「全国募金リレー」を実施しました。

大学奨学生約2300人が参加し、あしなが運動のバトンを次世代につなぐことができました。

各地での報道は約300件にのぼり、1日あたりの街頭募金額も過去最高となりました。

また、全国で多くの「あしながさん」が各募金拠点にお越し下さいました。心温まる励ましのお言葉やお手紙をいただき、スタッフ一同、涙しました。



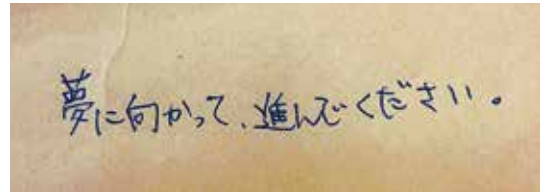
全国募金リレーの象徴となったタスキには、各地で応援の言葉が書き込まれました



「うちの甥もあなたと同じ鹿児島県の大学に行っとりたい。頑張ってよー」。実際にご寄付者とお話ができ、驚きと共に感動＝JR 熊本駅



「ありがとうございます」。いただいた善意に笑顔でお返し＝JR 前橋駅北口



募金箱にそっと入れられていた、ご寄付を包んだ紙袋。そこに書かれた言葉に、みんな胸が熱くなりました＝JR 鳥取駅



募金の学生リーダーや本会職員らは各地の新聞社やテレビ局を訪れ、遺児家庭の状況などを説明しました。この結果、募金リレーについての新聞記事やテレビ、ラジオのニュースなどは約 300 件となり、あしなが育英会本部（東京都千代田区平河町）の壁は、全国紙、地方紙の記事で埋め尽くされました

### 学生寮・心塾（こころじゅく）

#### 奨学生、巣立ちの春 卒塾式

東京と神戸にある本会学生寮「心塾」の卒塾式が2月に行われ、東京は6人、神戸は1人が巣立っていきました。7人の心塾生活は、まさに「コロナ禍との闘い、でした。時に心が折れそうになりながらも、塾生同士で支えあい、夢を追い続けました。答辞には、その苦しさを乗り越えた達成感、そして感謝がつづられていました。



神戸市の「虹の心塾」の卒塾式で、後輩や本会職員から祝福を受ける卒塾生



東京都日野市の「あしなが心塾」で。卒塾式の後、玉井義臣塾長（本会会長）の直筆による「志」の色紙を手に、本会職員らと記念撮影



虹の心塾（兵庫県神戸市）



あしなが心塾（東京都日野市）

#### 心塾

東京と神戸にある奨学生のための学生寮「心塾（こころじゅく）」では、「暖い心」「広い視野」「行動力」「国際性」を兼ね備えた人材の育成をめざしています。寮費は朝晩の食事と光熱費を含めて1か月1万円。仕送りの望めない地方の学生でも、首都圏や関西圏の大学に進学できる環境が整っています。文章指導や英会話など独自の教育プログラムも実施しています。

## ラーニング サポート プログラム .....

### 大学奨学生らが遺児小中学生に学習支援

大学奨学生を中心としたボランティアが、遺児家庭の小中学生と1対1のペアを組み、週1回1時間、オンラインでの学習支援プログラムを通年で実施しました。

22年度は、最終的に69組のペアが参加し、全体での実施回数は1503回。また、今年度は初めて集合型のイベントを対面で実施。23年3月にはラーニングサポーターの活動報告会を行いました。さらに、トライアルとして高校生プログラムも開始。前年度まで中学3年生として参加していた9人を対象に、オンラインにて集合型の学習支援体制を構築しました。

参加者アンケートでは、小中学生の87%が継続参加を希望し、76%が毎週のセッションを「楽しみである」と回答。保護者の89%が「プログラム



は（全般的に）期待に込んでいる」、特に78%が子どもの学習習慣において、60%が子どもの進路や進学先において「期待に込めた」と回答しました。ラーニングサポーターとして関わったボランティアスタッフは83%が同じ大学生にこのプログラムへの参加を「勧めたい」と回答するなど、参加者から高い評価を得ました。

### 「まちなか留学」日本でホームステイ体験

日本在住の外国人宅でホームステイ体験をするプログラム「まちなか留学」に、23年1月、小中学生12人が参加しました。

初日は外国人ボランティアも交えた野外活動で参加者同士が交流し、さまざまな国での海外駐在経験をもつ奨学生OBの体験談を聞いた後に都内に宿泊。2・3日目はチームに分かれ、4つのホストファミリーのお宅に泊まってホームステイを体験しました。

インド人のシャルマさん宅では、本場のインドカレーやチャイを作って食べたり、インドの伝統衣装・サリーを試着して楽しみました。さらに大事な習慣である1日5回のお祈りも一緒に体験し、生活や文化について学びました。英語でのコミュニケーションにも身振り手振りを交えて懸命に取

り組みました。参加した中学1年生の女子は「英語を使って会話をすることができて、学んでよかったと思った！」と弾んだ声で語ってくれました。

なお、今回の素晴らしい機会は「まちなか留学」プログラムを開発、実施しているHello World株式会社（本社：沖縄）に無償提供していただきました。



インド出身のホストファミリー宅で伝統衣装サリーを着て記念撮影

### 東日本大震災から12年「こころの居場所」開催 東北レインボーハウス

東日本大震災から12年となった3月11日、12日の2日間、震災で親を亡くした子どもと保護者のための「こころの居場所」を、仙台、石巻、陸前高田のレインボーハウスで開催しました。

参加者はゆっくりと亡き人を想ったり、今の気持ちを表現したりと自分のペースで過ごしていました。13回忌の法要や追悼式後に来館された方もいらっしゃいました。

東北レインボーハウスの3月11日は「再会」の日でもあります。「子どもの進学や就職が決まった」

といううれしい報告や、保護者同士で近況を共有していました。

それに加え、震災にまつわる話をする場面も多々ありました。2011年から行ってきたプログラムで撮影した写真を見ながら、この12年間を振り返る姿も印象的でした。

さまざまな想いをかかえた方が集まれるようにと、毎年開催している「こころの居場所」。また再会できる日を願って、「またね」と子どもたちを見送りました。

#### 仙台レインボーハウス



ビーズやガラス玉を組み合わせてサンキャッチャー（窓辺に飾るインテリア）を作る保護者。一緒に作業しながら日々の出来事を話しあい、穏やかな時間を過ごしました

#### 石巻レインボーハウス



「今日という日のために、『祈り』という名前のお菓子にしました」。亡き母に教わったお菓子づくりの腕を磨いてパティシエになり、仲間にケーキをふるまった大槻綾香さん（写真中央）

#### 陸前高田レインボーハウス



地震発生時刻である14時46分に、海に向かって黙とう。「今年は参加できないけど、レインボーハウスのスタッフと話したい」と電話をかけてくれた社会人の遺児もいました



過去に行ったプログラムの写真を見ながら、あしながを通じて出会った人や、印象的だったことを振り返る姿がありました



## 「卒業生を送る会」“つながり、へ感謝 神戸レインボーハウス

しだれ桜が満開の3月、中学と高校の3年生の門出を祝う「卒業生を送る会」を開催しました。3年連続、対面だけでなくオンラインでも参加できるようにハイブリッド型で実施。

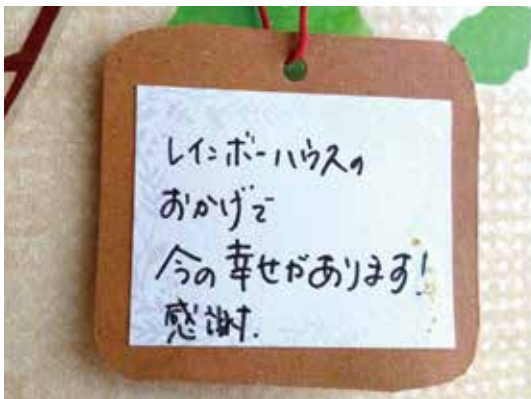
お祝いには、レインボーハウスに通う子どもたちやファシリテーターも集まりました。いつもの顔ぶれが集まると、これまでの思い出や現在のこと、新生活への期待や不安など「これまで・今・これから」について、たくさん話題に花が咲きました。

「まずは高校生活を頑張る」「バスケで近畿大会を目指したい」「来年からはレインボーハウスを手

伝いたい」。一人ひとりの子どもの「あのね」に、皆が耳を傾ける光景がこの日もありました。

宝物について話していたとき、ある子が「宝物はレインボーハウスで出会った人たち」と教えてくれました。これまでの“つながり、への感謝を言葉にしてくれた姿にみんなうれしくなりました。

また、卒業生の保護者の方も参加し、気持ちを共有する大切な時間となりました。「(子どもたちの門出を祝う) 節目のときこそ、パートナーと一緒にお祝いできたらな…」という率直な思いもお話しくださしました。



それぞれの「これまで・今・これから」を語り合いました

## ワンデイプログラム再開 あしながレインボーハウス（東京都日野市）

対面プログラムを本格的に再開した2022年度、にぎやかな声が戻りました。日帰りの「ワンデイプログラム」は参加する遺児家庭の増加に伴い、月に2回の開催に。2023年3月には、宿泊プログラム「全国小中学生遺児のつどい」も開催。数年ぶりの再会を喜びあいました。

季節の行事を楽しみながら、子どもたちが自身のグリーフ（悲嘆・愛惜）に丁寧に触られるよう、さまざまなワークにも取り組みました。10月は紙コップでハロウィンのジャック・オー・ランタンを作り、その中に「大切な人」へのメッセージを収めました。亡き人とのつながりを感じ、表現していました。

ファシリテーター養成講座も年2回開催し、多くの方に受講いただきました。活動開始から15年の節目を迎え、プログラムに参加していた子どもが成長し、ファシリテーターとして戻ってくることも増えました。



大切な人へのメッセージを収めた手作りのランタン

### 第 5 回世界青少年『志』プレゼンテーション大会で最優秀賞

100 年構想生のマッセゴ・ヘンリーさん（コンゴ共和国）

10月に都内で開催された「第5回世界青少年『志』プレゼンテーション大会」（主催／一般社団法人 志教育プロジェクト、後援／文部省、環境省、外務省など）で、マッセゴ・ヘンリーさん（コンゴ出身・大学2年生）が最優秀賞及び文部科学



「アフリカでは理論より行動が必要」と説いたヘンリーさん

大臣賞を受賞しました。今回の大会には約 200 人が応募し、2次審査を経て 12 人がファイナリストとして最終プレゼンに出場しました。

ヘンリーさんは、紛争や貧困などで学校をあきらめ犯罪に手を染める若者がいるアフリカの現状を変えるため、読み書き・計算や石鹸づくり等、実地的なスキルを学ぶ場を作ってきました。さらに、学校を離れても若者が自らの夢を実現して地域社会に貢献できるよう起業家精神を育むトレーニングセンター建設を目指しています。



「若者には世界を変える可能性がある」と訴えたカリスさん

また、優秀賞を受賞したヴィシス・カリスさん（カメルーン出身・大学2年生）は、地域社会をよくするため若者に必要な技術を身につけてもらう計画を力強くアピールしました。

### 留学生のつどい 4年ぶりに対面で復活

国内で学ぶ 100 年構想生 61 人が 4 年ぶりに対面で会える「留学生のつどい」を、3月、千葉県白子町で開催しました。

駐日ウガンダ大使をはじめ、アフリカ出身の起業家や卒業生など多彩なゲストによる講演や意見交換。日本人奨学生があしなが募金について説明する場面もありました。

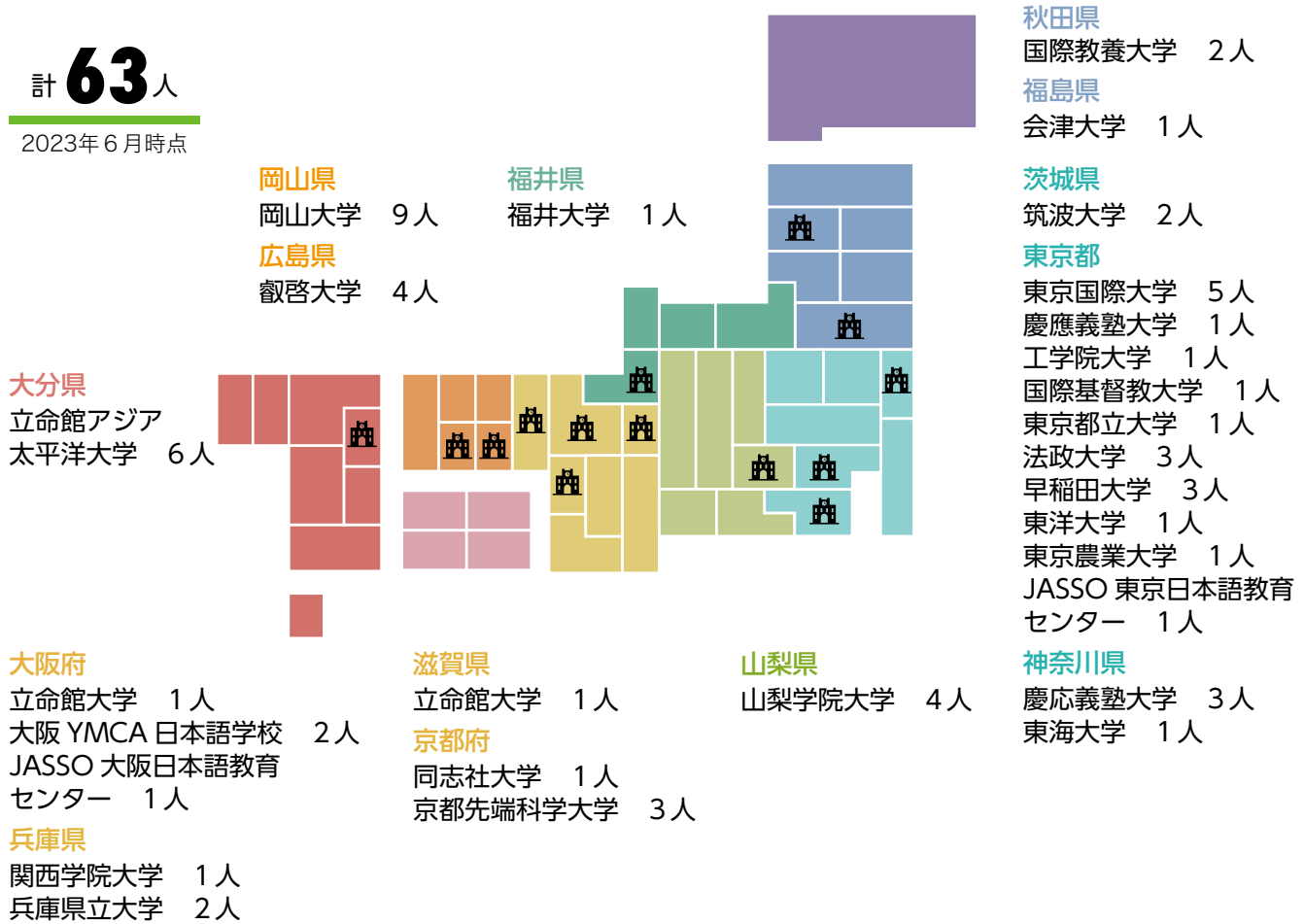
また、「将来アフリカに貢献する」という「志」の実現に向けて留学生たちが取り組んでいる母国や地域の課題に対する提案の発表会も実施。セルフケア、キャリア開発、アフリカ大陸との絆を考える議論などを行いました。



## ■ 日本各地の学校で学ぶアフリカ出身のあしなが奨学生

計 **63**人

2023年6月時点



## ■ アフリカの遺児の「今」をお伝えします

アフリカの遺児の状況と本会の支援活動を伝えるレポートを発行しています。学生へのインタビューやウガンダとセネガルの職員らから届いた最新の記事・写真が掲載されています。アフリカ遺児支援のあしながさんに、定期的にお届けします。本会ウェブサイトでも紹介していますので、ぜひご覧ください。



アフリカ支援の活動報告はこちら



<https://www.ashinaga.org/media/category/report-africa/>

### あしながアフリカ遺児高等教育支援 100年構想

サブサハラ・アフリカ地域 49 か国の各国から優秀な遺児を選抜し、日本をはじめ世界中の大学に留学する機会を提供することで、将来さまざまな分野で活躍し、母国の発展を担うリーダーを育成する活動です。この活動で日米欧ブラジル等の世界有数の大学に留学する学生を 100 年構想生と呼び、2014 年度採用の 10 人を皮切りに、2022 年度までに累計 270 人以上が世界の大学へ入学しました。

# 2022年度決算報告

## ■ 正味財産増減計算書

2022年4月1日～2023年3月31日

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
特定資産運用益			
①特定資産受取利息	2,049,129	2,442,387	△ 393,258
受取寄付金			
①受取寄付金	6,116,358,310	6,133,507,246	△ 17,148,936
②指定正味財産からの振替額	301,970,000	43,600,000	258,370,000
雑収益			
①寮費収入	12,449,666	10,890,000	1,559,666
②受取利息	1,019,729	1,460,362	△ 440,633
③その他の収入	6,838,589	1,772,982	5,065,607
経常収益計	6,440,685,423	6,193,672,977	247,012,446
(2) 経常費用			
①事業費			
奨学給付金	2,621,435,000	2,459,240,000	162,195,000
給料手当	550,277,468	638,030,829	△ 87,753,361
退職給付費用	34,235,306	38,909,415	△ 4,674,109
法定福利費	79,409,656	87,123,688	△ 7,714,032
広告宣伝費	9,521,016	-	9,521,016
旅費交通費	72,728,309	17,113,164	55,615,145
通信運搬費	90,791,862	84,189,460	6,602,402
減価償却費	108,279,455	109,132,988	△ 853,533
ソフトウェア開発費	57,318,633	95,271,912	△ 37,953,279
什器備品費	8,256,473	6,685,387	1,571,086
消耗品費	6,898,491	5,577,218	1,321,273
修繕費	65,974,017	66,005,252	△ 31,235
印刷製本費	25,899,901	25,274,848	625,053
光熱水料費	39,754,320	33,014,543	6,739,777
賃借料	91,694,844	85,578,086	6,116,758
保険料	8,679,217	4,528,427	4,150,790
諸謝金	9,844,499	15,509,651	△ 5,665,152
租税公課	62,829,991	40,304,900	22,525,091
委託費	239,953,146	223,638,788	16,314,358
雑費	9,404,166	4,129,967	5,274,199
送金手数料	27,077,107	30,165,347	△ 3,088,240
書籍購入費	583,924	9,274,240	△ 8,690,316
引落手数料	2,445,630	2,512,059	△ 66,429
給食費	31,693,218	31,192,273	500,945
職員研修費	3,489,096	5,462,443	△ 1,973,347
AC 広告制作費	20,708,158	-	20,708,158
学生募金経費	14,915,075	4,654,514	10,260,561
留学支援費	178,527,426	184,437,114	△ 5,909,688
海外事務所等支援費	480,708,899	408,496,948	72,211,951
利息費用	1,576,460	1,576,460	-
返還免除引当金繰入	-	10,306,407	△ 10,306,407
その他事業費	206,386,802	70,965,445	135,421,357

この決算報告は、有限責任あずさ監査法人による監査を受け、  
理事会並びに評議員会の承認を経た財務諸表等の要約です

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
事業費計	5,151,893,399	4,794,171,806	357,721,593
②管理費			
給料手当	114,109,786	147,627,706	△ 33,517,920
退職給付費用	13,067,603	32,893,202	△ 19,825,599
法定福利費	25,947,340	26,879,624	△ 932,284
旅費交通費	6,888,240	5,497,891	1,390,349
通信運搬費	5,619,337	4,583,612	1,035,725
減価償却費	4,934,192	30,666,672	△ 25,732,480
什器備品費	1,191,686	2,432,935	△ 1,241,249
消耗品費	1,615,386	2,231,774	△ 616,388
修繕費	45,210	11,385	33,825
印刷製本費	1,283,453	1,134,162	149,291
光熱水料費	2,711,409	1,871,672	839,737
賃借料	23,982,671	27,908,103	△ 3,925,432
保険料	△ 661,459	110,153	△ 771,612
租税公課	864,700	4,981,000	△ 4,116,300
委託費	68,795,445	73,315,088	△ 4,519,643
雑費	4,005,043	9,951,853	△ 5,946,810
送金手数料	1,346,152	1,278,433	67,719
職員研修費	971,116	1,336,944	△ 365,828
役員報酬	28,700,290	23,344,413	5,355,877
監査報酬	8,745,000	13,310,000	△ 4,565,000
管理費計	314,162,600	411,366,622	△ 97,204,022
経常費用計	5,466,055,999	5,205,538,428	260,517,571
当期経常増減額	974,629,424	988,134,549	△ 13,505,125
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
返還免除引当金繰戻	14,253,719	-	14,253,719
経常外収益計	14,253,719	-	14,253,719
(2) 経常外費用			
固定資産除却損	5	-	5
経常外費用計	5	-	5
当期経常外増減額	14,253,714	-	14,253,714
当期一般正味財産増減額	988,883,138	988,134,549	748,589
一般正味財産期首残高	43,807,977,703	42,819,843,154	988,134,549
一般正味財産期末残高	44,796,860,841	43,807,977,703	988,883,138
II 指定正味財産増減の部			
①受取寄付金			
受取寄付金計	916,000,000	500,000,000	416,000,000
②受取利息			
受取利息計	469	384	85
③一般正味財産への振替寄付金			
一般正味財産への振替寄付金計	△ 301,970,000	△ 43,600,000	△ 258,370,000
当期指定正味財産増減額	614,030,469	456,400,384	157,630,085
指定正味財産期首残高	664,082,250	207,681,866	456,400,384
指定正味財産期末残高	1,278,112,719	664,082,250	614,030,469
III 正味財産期末残高	46,074,973,560	44,472,059,953	1,602,913,607

# 2022年度決算報告

この決算報告は、有限責任あずさ監査法人による監査を受け、  
理事会並びに評議員会の承認を経た財務諸表等の要約です

## ■ 貸借対照表

2023年3月31日現在

(単位：円)

科 目		当 年 度	前 年 度	増 減
I 資 産 の 部	1. 流動資産			
	現金預金	3,620,658,243	3,655,643,340	△ 34,985,097
	未収金	8,798,996	24,353,649	△ 15,554,653
	前払費用	17,794,870	9,095,389	8,699,481
	経費前払金	26,050,000	4,517,239	21,532,761
	流動資産合計	3,673,302,109	3,693,609,617	△ 20,307,508
	2. 固定資産			
	(1) 基本財産			
	一般財産	3,000,000	3,000,000	-
	基本財産合計	3,000,000	3,000,000	-
	(2) 特定資産			
	指定正味財産奨学基金積立資産	1,278,112,719	664,082,250	614,030,469
	東日本大震災遺児支援積立資産	3,031,905,098	3,029,855,969	2,049,129
	退職給付引当資産	465,389,684	471,487,337	△ 6,097,653
	奨学金積立資産	2,200,000,000	2,200,000,000	-
	アフリカ100年構想積立資産	1,000,000,000	1,000,000,000	-
	特定資産合計	7,975,407,501	7,365,425,556	609,981,945
	(3) その他固定資産			
	奨学貸与金	31,121,680,289	30,020,932,592	1,100,747,697
	建物・建物附属設備・構築物	2,294,116,288	2,381,663,931	△ 87,547,643
	什器備品	16,604,246	21,317,833	△ 4,713,587
	土地	1,743,400,000	1,743,400,000	-
	受贈不動産	566,539,648	824,213,540	△ 257,673,892
	ソフトウェア	83,012,088	29,139,202	53,872,886
	建設仮勘定	125,554,000	125,554,000	-
	電話加入権	1,352,624	1,352,624	-
	差入保証金	107,622,016	107,857,016	△ 235,000
金銭信託	107,893,286	16,834,013	91,059,273	
破産更生債権等	434,381,250	382,708,250	51,673,000	
返還免除引当金	△ 1,215,307,958	△ 1,268,891,350	53,583,392	
その他固定資産合計	35,386,847,777	34,386,081,651	1,000,766,126	
固定資産合計	43,365,255,278	41,754,507,207	1,610,748,071	
資産合計	47,038,557,387	45,448,116,824	1,590,440,563	
II 負 債 の 部	1. 流動負債			
	未払金	59,976,722	63,601,395	△ 3,624,673
	預り金	6,855,155	9,885,148	△ 3,029,993
	仮受金	4,375,987	12,000	4,363,987
	期末手当引当金	48,425,326	54,086,498	△ 5,661,172
	流動負債合計	119,633,190	127,585,041	△ 7,951,851
	2. 固定負債			
	退職給付引当金	465,389,684	471,487,337	△ 6,097,653
	資産除去債務	378,560,953	376,984,493	1,576,460
	固定負債合計	843,950,637	848,471,830	△ 4,521,193
負債合計	963,583,827	976,056,871	△ 12,473,044	
III 正 味 財 産 の 部	1. 指定正味財産			
	指定正味財産奨学基金	1,278,112,719	664,082,250	614,030,469
	指定正味財産合計	1,278,112,719	664,082,250	614,030,469
	(うち基本財産への充当額)	-	-	-
	(うち特定資産への充当額)	(1,278,112,719)	(664,082,250)	(614,030,469)
	2. 一般正味財産	44,796,860,841	43,807,977,703	988,883,138
	(うち基本財産への充当額)	(3,000,000)	(3,000,000)	-
(うち特定資産への充当額)	(6,231,905,098)	(6,229,855,969)	(2,049,129)	
正味財産合計	46,074,973,560	44,472,059,953	1,602,913,607	
負債及び正味財産合計	47,038,557,387	45,448,116,824	1,590,440,563	

## 役員・評議員

## 理事

会長	玉井 義臣	あしなが運動創始者
会長代行	村田 治	関西学院大学前学長、中央教育審議会委員
副会長	青野 史寛	ソフトバンク株式会社専務執行役員兼CHRO
	天野 聡美	あしなが画家、イラストレーター
理事	工藤 長彦	一般財団法人あしなが育英会会長補佐
	岡崎 祐吉	一般財団法人あしなが育英会国際担当
	小林 雅之	桜美林大学教育探究科学群長・教授、東京大学名誉教授
	神余 隆博	関西学院理事、関西学院大学特別任期制教授、国連・外交統括センター長
	須田 洋平	弁護士、米国ワシントン州弁護士
	関 亨江	一般財団法人あしなが育英会事務局長・アフリカ事業部長
	大六野 耕作	明治大学学長
	田中 愛治	早稲田大学総長、日本私立大学連盟会長
	曄道 佳明	上智大学学長
	山口 佳三	京都大学監事、北海道大学元総長、北海道大学名誉教授
	吉岡 知哉	独立行政法人日本学生支援機構理事長

## 顧問

名誉顧問	岡嶋 信治	交通事故遺児を励ます会会長、元財団法人交通遺児育英会理事、元交通遺児を励ます会全国協議会会長
常任顧問	堀田 力	弁護士、元検事
	樋口 恵子	NPO 法人高齢社会をよくする女性の会理事長、東京家政大学名誉教授
	金木 正夫	医師、順天堂大学客員教授、元米国ハーバード大学准教授
	櫻井 芳雄	あしなが学生募金提唱者
	吉田 和彦	元あしなが育英会事務局長

## 評議員

石原 孝代	看護師、社会福祉士、介護支援専門員
緒方 洪章	画家、緒方家洪庵会会長、新宿朝日カルチャーセンター講師、三越カルチャーサロン講師
小倉 良弘	弁護士
小澤 俊朗	元駐南アフリカ特命全権大使、元在ウィーン日本政府代表部大使
カシンスキー・リチャード・ヒデキ	医療法人社団心と和会江東メディカルタワー総院長、米国スタンフォードソリューション共同創設者・ディレクター
加藤 朋江	筑紫女学園大学人間科学部人間科学科初等教育・保育専攻准教授
菅原 直志	東京都議会議員
副田 あけみ	東京都立大学名誉教授
堂道 秀明	スズキ株式会社取締役、元駐インド特命全権大使、前国際協力機構副理事長、元外務省中東アフリカ局長
富永 典子	日仏経済交流委員会総代表、欧州連合 EU 駐日代表部元儀典課長
長島 美紀	認定 NPO 法人 Malaria No More Japan 理事、一般社団法人 SDGs 市民社会ネットワーク業務執行理事、合同会社ながしま笑会代表社員
堀 正二	大阪国際がんセンター名誉総長、大阪大学名誉教授

## 監事

小谷 勝彦	日鐵住金建材株式会社常任顧問、NPO 法人国際環境経済研究所理事長
日高 清司	弁護士
吉川 明	社会福祉法人日本盲人社会福祉施設協議会常務理事、公益財団法人日本盲導犬協会顧問

(2023年9月現在・敬称略)

本会のお知らせや活動レポートをウェブサイト（あしながメディア）で随時公開しています。ぜひご覧ください <https://www.ashinaga.org/media/>



# ACジャパン支援キャンペーン 開始

～亡き父を思う作文 大反響～

「父の日は、お父さんのことを忘れないように、思い出して泣きたい」。2022年7月からACジャパン支援キャンペーンで取り上げられた遺児の作文は、本会の長年の「心のケア活動」から生まれました。

支援キャンペーンに使われた文章を含む遺児作文集「父の日に お父さんはいない」の進呈企画を機関紙177号から続けてお知らせしたところ、「自分の子どもにも読ませたい」「学校や図書館にも置いてもらいます」と、全国からご希望のメールやお便りが続々と寄せられました。

教育・福祉・医療関係にお勤めの方、ご自身も子どものころに親を亡くされた方、子育て中の方など様々です。職場やサークルなどで読みたいと、数十～百冊以上のご要望もありました。遺児や保護者への胸を打つ励ましのメッセージも多く届きました。

この公共広告を通して、親を亡くした子どもたちへの理解が広がることを願っています。



## ご希望の方に無料でお送りします

AC 広告には、作文集『父の日に お父さんはいない』に掲載された作文の一部が使われています。

作文集をお読みにになりたい方は、QR コードからお申し込みください。 <https://ashinaga.org/contact/application-sakubun/>



## ご支援ありがとうございます。

みなさまの継続的なご寄付のおかげで私たちの活動が続いています。

◆郵便局（ゆうちょ銀行）備え付けの青色の用紙でお振込みされる際は、下記の口座番号をご利用ください。ご寄付の使いみちは次の5つからお選びいただけます。

- 1 00140-1-541731 あしなが育英会  
(あしなが育英会の活動全般)
- 2 00180-0-15595 あしなが育英会あしながさん奨学金係
- 3 00140-6-98241 虹のかけはし会員  
(国内遺児の心のケア活動)
- 4 00130-7-776732 あしなが東日本大震災遺児支援募金
- 5 00150-3-734125 あしながアフリカ遺児教育支援

◆ゆうちょ銀行以外の銀行やコンビニエンスストア、また、ウェブサイトからはクレジットカードとPay-easy(ペイジー)もご利用いただけます。

### ◆お問い合わせ

フリーダイヤル (寄付課直通)  
**0120-916-602**

Eメール  
supporter@ashinaga.org

詳しくはウェブサイトをご覧ください  
<https://www.ashinaga.org/support/donation/>



遺贈のご相談も  
うけたまわっています

フリーダイヤル (遺贈相談室直通)  
**0120-971-546**

不動産などのご寄付もうけたまわっています。  
お気軽にお問い合わせください。

Eメール [legacy@ashinaga.org](mailto:legacy@ashinaga.org)